

京都府立府民ホール

データ検証	公共性	B	有効性	C	効率性	C
課題・問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率は高いが、直近3年間の利用者数は減少傾向にある。 ・利用者1人あたりコスト・府費負担割合が高いが、これは当施設がホールのみ施設であることや、利用料金が低廉であるとともに、入場料金の有無や高低などにかかわらず一律となっていることが影響しているものと考えられる。 ・指定管理者の募集について、前回、単独応募に加え、文化芸術会館との一括応募も可能としていた。 					
検証結果	<p>要改善</p> <p>企画・広報の充実、営業活動の積極的な展開、魅力ある自主事業の実施など利用促進の取組の強化を図るため、利用率等の目標値を募集要件に設定すべきである。</p> <p>(理由)</p> <p>利用者数が減少傾向にあることから、施設目的に照らし、より多くの府民に施設の価値を還元すべく、施設の効果的・効率的な運営に向けた改善が必要と考える。</p>					
施設運営等に 係る意見	<ul style="list-style-type: none"> ・競争性をより確保する観点から、文化芸術会館との一括募集は取りやめ、単独募集のみとすること。 					